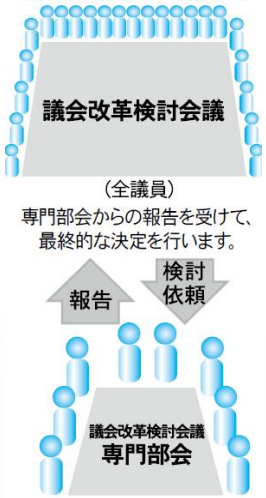
開かれた議会へ　議会改革のあゆみ

H25→H27
箕面市議会

本格的な協議を開始
議会改革検討会議を設置

「開かれた議会」を基本理念に「議会改革検討会議」を設置し、市議会の改革に向けて本格的な協議を開始
検討項目を詳細に協議する各会派代表者及び無所属議員の代表者で構成する「専門部会」も設置

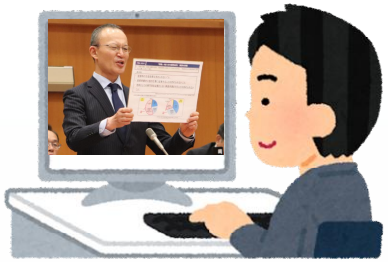


身近に議会を感じてもらう
議会だよりリニューアル

さらにわかりやすく、より親しまれる紙面をめざし、全面カラー化や掲載項目の変更など、議会だよりを刷新

いつでもどこでも議会を
ライブ・録画配信を開始

YouTubeを活用した、すべての本会議・委員会の放映を開始



平成25年

議論を深く、明確に
一問一答方式を導入

一般質問において、従来の「一括質問一括答弁方式」と「一問一答方式」を選択制に変更
さらに質問者と答弁者の「対面方式」も導入

平成26年

市民の意見を市政に反映
市民との意見交換会を開始

- **分野別意見交換会**
  委員会単位で、所管事項に関係する市民・NPO等の各種団体を対象に開催
- **地域別意見交換会**
  議員が地域の課題等を市民の皆さんと意見交換

毎年11月頃
3小学校区で
開催

平成27年

決意を新たに　「議会を変える」
議会改革フォーラムを開催

第1部：議会報告会
第2部：北川正恭氏
（早稲田大学マニフェスト研究所顧問）による
特別基調講演を実施

「チーム箕面市議会」として、議会改革を推進していく！！

開かれた議会へ　議会改革のあゆみ

H28→R1
箕面市議会

議 会改革の集大成へ
基本条例制定作業を開始

各会派及び無所属議員の代表者により制定に向けた作業部会を結成し、検討（作業）を開始

約2年間の協議
19回の作業部会

改 革をより前進させる
議会基本条例制定

平成30年第3回定例会
これまでの議会改革の集大成と位置付ける「箕面市議会基本条例」を制定

コ ミュニケーションできる議会へ
ホームページリニューアル

情報発信や市民とのコミュニケーションツールとして活用するため、若手議員主導のもと、ホームページをリニューアル

一 歩先の議会改革へ
議会内の機構改革

- 「議会だより編集委員会」を廃止
  →情報発信の中核を担う「広報委員会」に再編
- ①ICT化，②災害対応，③意見交換会，④自由討議のテーマに特化した作業部会を設置

平成28年　平成29年　平成30年　令和元年

政 策形成を議会から
政策形成支援セミナー開催

「政策形成とこれからの議会改革」と題して、議会改革の牽引者である江藤俊昭氏（山梨学院大学法学部教授）による講演会を開催

徹 底した情報公開を
政務活動費の会計証拠書類公開

これまでの収支報告書等に加えて、領収書等の会計証拠書類についても公開を開始

情 報共有を迅速に
グループウェア導入

情報共有やスケジュール管理、紙資料の削減等を目的に、グループウェア（サイボウズoffice）を導入

活 発な議会活動へ繋げる
タブレット端末導入

全議員にタブレット端末を貸与
合わせて議案書の紙とデータの併用も開始

開かれた議会へ　議会改革のあゆみ

R2→R3
箕面市議会

全ての資料をペーパレス化
議案書等の印刷・製本を廃止

PDFなどのデータ資料のみでの運用を開始
同時に市長側の資料のペーパレス化も実現

政策で勝負する議会へ
議会総体で”公立幼保のあり方”を調査

市の「公立幼稚園の段階的廃止及び公立保育所民営化の拡大」との方針に
議会総体で調査し、市長へ方針転換を求め政策提言

令和2年　令和3年

自ら説明責任を果たすため
定数･報酬を検討する仕組みを決定

これまでの定数、報酬削減の是非を問う議論でなく、
適正な額や人数がどの程度なのかという本質的な部分を検討するためのプロセス「箕面モデル」を決定

プロセス１　調査部会
経済学及び議会関係の専門家へのオンラインでのヒアリングなど、コロナ禍での報酬のあり方を検討

体制をさらに強化
議会内の機構改革vol.2

「政策形成サイクル」,「災害対応」,
「ICT化」のテーマに特化した作業部会、
「意見交換会部会」を設置

改革が高く評価
全国15位！
議会改革度ﾗﾝｷﾝｸﾞ

議会改革度調査2020
全国総合　15位
【分野別】情報共有：5位
住民参画：94位
議会機能：22位

市民生活の維持・安定のため
議会の災害対応方針を決定

①自然災害や感染症のまん延等に対し、
「災害発生時　対応マニュアル」を制定

②災害時等でも議会活動を継続し、またオンラインで委員会を開催するため、関係例規を改正

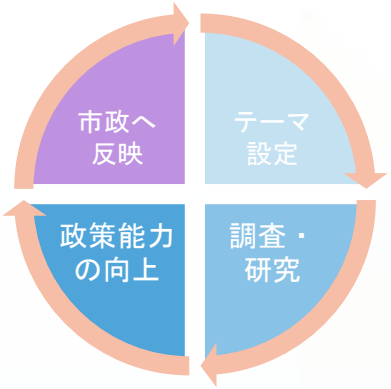
議会基本条例
委員会条例
議会運営委員会条例

開かれた議会へ　議会改革のあゆみ

R4→R5
箕面市議会

政 策形成サイクルをまわす
委員会調査のサイクルを決定

委員会ごとに、年間のテーマを設定し、調査活動を実施する



研 修の充実でスキルアップ
新たな研修スキームを導入

政策形成サイクルの中での「勉強会」を、「委員会主催の研修会」に位置付け、委員会ごとの調査テーマに沿った研修のスキームに変更

オ ンラインベースの議会へ
発言通告に入力フォームを導入

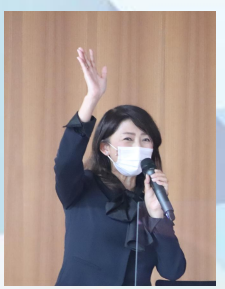
紙提出の発言通告書を、すべて入力フォームを使ったオンラインでの提出方式に変更

LoGo LoGoフォーム

令和4年

自 由討議を活発に
委員会協議会を明文化

議員間の自由討議の場である委員会協議会の設置要綱を策定し、自由討議の充実を図る



コ ミュニケーションを向上！！
愛されるコミュニケーションを習得

政策形成支援セミナー
「市民から愛されるコミュニケーション術」
講師：森川あやこ氏（Officeアイム代表）

令和5年

D Xで次のフェーズへ
株式会社ディー・エヌ・エーと包括連携協定を締結

議会のICT化を、さらに一歩漸進させるため、議会デジタル・トランスフォーメーションの推進に関わる包括連携協定を締結

議 会改革全体会立ち上げから１０年

議会内の機構改革vol.3

・「専門部会」を廃止し、作業部会を昇格

・①議会DX, ②災害対応, ③意見交換会, ④政策形成をテーマとした４つの部会を設置

開かれた議会へ　議会改革のあゆみ

R6→R7
箕面市議会

定 数・報酬のあり方を検討
「箕面モデル」に基づく調査部会を設置

ポストコロナをはじめとした近年の社会情勢を踏まえた
議員定数・報酬改定の必要性についてアンケート調査や
専門家を招き講演会を開催

講師：髙沖秀宣氏
（自治体議会研究所代表）

公 共交通に関する調査・研究を実施
公共交通特別委員会で議論

市内の公共交通による移動の利便性向上や
充実を図るための方策を検討

短期的視点での課題対応に向け令和８年度施策及び
予算編成へ反映する必要があるものについて

市長に要望書を提出

令和8年に
継続

●要望内容の概要
1. 各モビリティ利用実態・ニーズの定期把握
2. 公共交通利用における快適性の向上策
3. 料金負担の軽減及び格差是正　　など

オレンジゆずるタクシー
（福祉有償運送）

シェアサイクル

のるーと
（AIオンデマンド）

令和6年

指 定管理者による病院運営を議会独自で評価するための検討を開始
病院に関するアンケート調査を実施

市民や利用者を対象に、病院に対する関心の高い
項目や実体験について、アンケート調査を実施

利 便性向上へ
請願・陳情のオンライン提出を可能に

これまでの書面による提出に加え、
オンラインによる受付を開始

令和7年

D Xの一層の推進に向けて
コニカミノルタ株式会社と包括連携協定を締結

政策形成機能の向上や情報発信などを充
実させるため、議会デジタル・トランス
フォーメーションの推進に関わる包括連
携協定を締結